



第2回かながわ教育学講座

暦の上では秋ですが、残暑が厳しい日が続いています。令和2年8月30日(日)、総合教育センター善行庁舎において第2回かながわ教育学講座が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開講式がオンラインでの実施となったため、オープンコース受講者の善行庁舎への来庁は今回が初めてとなりました。また、三密の状態を避けるために大講堂に全員が集まることはせず、前半に行われた猪飼教育事業部長による講義「神奈川県の求める教職員像」は各研修室での動画視聴となりました。また、後半のグループ活動では、模造紙を壁に貼ったり、座席位置を工夫したり等して協議することでお互いが向き合う場面を減らしながら実施しました。

講義「神奈川県の求める教職員像」



総合教育センター
猪飼 誉之 教育事業部長



教育事業部長から「神奈川県の求める教職員像」についての話がありました。講義に先立って、自身の経歴や、教職を志すきっかけになった3人の先生について話があり、受講者は身近なこととしてよく聞いていました。また、本日のゴールを「今後の目標設定を行うこと、人格的資質・情熱



をベースとした、めざすべき教職員像について考えること」と設定し、講義を聞きながら熱心にメモを取る受講者の姿が見られました。

平成27年にかながわ教育ビジョンの一部改訂に伴い名称変更した「教職員人材確保・育成計画」では、めざすべき教職員像として「人格的資質・情熱」「課題解決力」「授業力」が挙げられています。「人格的資質・情熱」については、受講者が過去に教わった先生をイメージしながら、下の4項目に沿って自身の目指す教職員像を書き表し明確にすることで、後半のグループ活動につなげてほしいとメッセージがありました。今回は動画での講義となりましたが、教育事業部長の情熱あふれる講義により、幸先の良いスタートを切ることができたのではないのでしょうか。

教職員としての人格的資質・教職への情熱

- ① 豊かな人間性と社会性、高い対人関係能力とコミュニケーション能力をもっている
- ② 子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている
- ③ 高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる
- ④ 変化に対応し、学び続ける向上心をもっている

教職員人材確保・育成計画より

[自己紹介]

グループ活動の前に、自己紹介のほかに簡単なレクリエーションを取り入れているグループもありました。どのグループも最初は緊張している様子が見られましたが、ユーモアを見せる受講者もいて、徐々に場が和んでいきました。グループ担当者と受講者の自己紹介を終え、「同じグループの受講者と共にこれから一緒に頑張っていきたい」と連帯感を強めることができたことと思います。



グループ活動

<ねらい>①「子どもに身に付けさせたい力」について共有し、育てたい子ども像をイメージする。
②「めざすべき教職員像」を考え、今後の学びに対する目標を設定する。

前半の講義を踏まえて、グループ活動を行いました。自分が教員になったとき、「子どもに身に付けさせたい力」とはどのようなものかを付せんに書き出しました。その後、カテゴリー別に分類し、まとめたアイデアの繋がりを考えながら模造紙にレイアウトしていきました。教員を志すに当たって、漠然と考えたことはあっても、じっくりと考えて仲間と意見を交わす機会は少なかったと思うので、とても貴重な体験になったのではないのでしょうか。ある受講者は、「コロナ禍で多くの人と話す機会がなく、まず人と話せることがとてもうれしい」と話していました。他の受講者も同じような気持ちで迎えたグループ活動だったのではないかと思います。そのためか、どのグループもとても和やかな雰囲気を取り組めていました。すでに頼もしいリーダーシップを発揮している受講者も見られるなど、今後の活動が楽しみです。



最後に、「めざすべき教職員像」について班で考えたことを、グループで共有しました。教育事業部長の講義を踏まえて、受講者自身がお世話になった先生をイメージしながら考えることができたでしょうか。今回の講座を通して抱いた思いを大切に、「めざすべき教職員像」を追い求めていってほしいと思います。まだカレッジは始まったばかりです。仲間とともに切磋琢磨しながらこれから頑張っていきましょう！